

事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名		埋火葬許可事務事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連				
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	市民部	課長名	緒田 恵子			
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	市民課	担当者名	右田 裕治			
	基本事業	86	市民サービスの向上			所属班	市民窓口班 (内線)		1112			
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 法令根拠	墓地、埋葬等に関する法律				
		1	2	3	1	11101						
						<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12			
								コスト削減優先度評価結果	6			
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												
【事業の内容】 墓地、埋葬等に関する法律に基づき、市町村長が許可するとされている事業で、埋火葬許可証を交付しなければならない。												
【業務の流れ】 ①死亡(死産)届書の受理②死亡(死産)届書の内容審査③埋火葬許可申請書作成④埋火葬許可証交付												
【主な予算費目】①需用費(印刷製本費)												
1 現状把握の部(DO、PLAN)												
(1) 事務事業の目的と指標												
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) (DO) 埋火葬許可証の発行を適正に行つた。												
21年度計画(21年度に計画している主な活動) (PLAN) ・平成20年度と同じ												
⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標) = ①の指標 (単位) → ア 死亡件数 件 イ												
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標) = ②の指標 (単位) → ア 申請件数 件 イ												
⑦成果指標(意図の達成度を表す指標) = ③の指標 (単位) → ア 埋火葬許可証を適正に処理した割合 % イ												
⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標) = ④の指標 (単位) → ア 窓口サービス等の苦情等件数 件 イ 窓口アンケートの総合評価点数 点												
(2) 総事業費・指標等の推移												
				単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
事業費 投入量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円									(期間 限定複数 年度のみ 記載)
		都道府県支出金	千円									
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円									
	一般財源		千円	95	63	63	60	77	77	77		0
	(A) 事業費計		千円	95	63	63	60	77	77	77		
	うち指定経費		千円									0
	うち時間外、特殊勤務手当		千円									
	人件費		正規職員従事人数	人	27	25	23	23	23	23	23	0
		延べ業務時間	時間	540	500	500	550	500	500	500		
(B)人件費計		千円	2,144	1,990	1,990	2,189	1,990	1,990	1,990	1,990	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,239	2,053	2,053	2,249	2,067	2,067	2,067	2,067		
活動指標		ア 件 イ	373	371	371	358	360	360	360	360	371	
対象指標		ア 件 イ	373	371	371	358	360	360	360	360		
成果指標		ア % イ	373	371	371	100	100	100	100	100		
上位成果指標		ア 件 イ 点	8 4.25	6 4.22	1 4.35	2 4.21	1 4.4	1 4.5	1 4.5	1 4.5		
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等												
①この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?												
墓地、納骨又は火葬場の管理及び埋葬等が、国民の宗教的愛情に適合し、且つ公衆衛生その他公共の福祉の見地から、支障なく行われることを目的として、昭和23年5月31日に法律が制定された。												
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?												
・20年度の振り返りを踏まえて、成果指標を変更した。												
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?												
・特になし。												

事務事業名	埋火葬許可事務事業	所属部	市民部	所属課	市民課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性  この事務事業の目的は市の政策体系に結びつかないか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 → ・内容審査を厳格に行い、事務処理の迅速化・正確化を確保できている。
	②公共関与の妥当性  なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 → ・内容審査を厳格に行い、事務処理の迅速化・正確化を確保できている。
	③対象・意図の妥当性  対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 → ・義務的な自治事務である。
有効性評価	④成果の向上余地  成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 → ・現状で妥当である。 ・成果指標を適正に処理した割合に変更した。
	⑤廃止・休止の成果への影響  事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 → 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 → ・死体(胎)の埋火葬が出来ない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性  目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業)  <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 → ・類似事業はない。
効率性評価	⑦事業費の削減余地  成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 → ・法的事務を実施するための経費であり、削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地  やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 → ・職員体制の工夫により即時交付が実現している。
	⑨受益機会・費用負担の適正化余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっていないか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 → ・不公平になる余地なし。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。  

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)  <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">コスト</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>維持</td> <td>△</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> </table>	コスト	削減	維持	増加	向上	○	△	成果	維持	△	○	低下	△	○	△
コスト	削減		維持	増加												
	向上	○	△													
成果	維持	△	○													
低下	△	○	△													

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
・特になし。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	6	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2)貢献度	8	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )

合志市